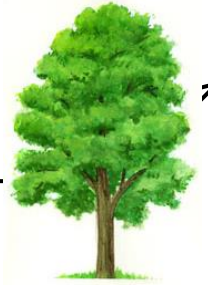




コミュニティ・スクール 太宰府市立太宰府西中学校 学校だより

樟 蔭

令和4年10月4日(火) No.10 文責 校長 島田 二郎



前期が終了しました

今日は前期終業式です。これから6日間の秋休みを挟み、10月11日(火)から後期が始まります。

前期を振り返りますと、「今年は比較的、コロナ禍においても教育活動を推進することができた」と感じています。そのため、諸活動をとおした子ども達の成長を感じます。一番大きなところでは体育会が実施できたことです。全校が1つになり、素晴らしい体育会を作り上げました。中でも3年生のブロックリーダーを中心とした活動による成果は大変大きなものでした。縦割りブロックで、3年リーダーを中心に活動し、生徒が自主運営することで達成感や感動を味わうことができました。1年生は2泊3日で自然教室に行くことができました。3日間、生活を共にすることで、絆が深まると共に、係活動による自主運営についても学ぶことができました。部活動では、感染症による中止はほとんどなく、しっかりと練習に励むことができました。ただし、大会時の応援に制限があったことは残念でした。校内の行事は、念のため、全校が集まることを控え、オンライン配信により実施しました。その場にいる臨場感は味わえませんが、テレビ画面をとおして視聴することで、しっかりと見て聴くことができました。

新型コロナウイルス感染症は収束したとは言えませんが、今後も感染対策を講じながら、教育活動を推進していきます。

校則が変わります

後期の10月11日から、太宰府西中学校の校則が大幅に変わります。一言でいうと、中学生や家庭の判断にゆだねる内容が多くなるということです。

これまで校則改定の取組として、生徒・保護者対象にアンケートを実施したり、学級や生徒会生活委員会において審議したりしました。また、代表生徒やPTA本部役員、地域代表の方を委員とする校則検討委員会においても計7回審議をし、今回の改定に至りました。

校則改定の主な方針としては、1. 学校が安心・安全であること、2. 生徒が自ら考え選択すること、3. 学習に適した環境を維持できること、4. 経済的な面も含めて公平・公平であること、5. 様々な個性や男女の性について考慮すること、6. 入試や就職時の面接等の場で適切であることです。事細かに記載をしなくなった分、中学生や家庭での判断が重要になります。

なお、今年2月の一部改定後の子ども達の様子を見て、「学習環境が乱れた」とか「これはあんまりではないか」と感じたことは一度もありません。また、夏祭り等の地域行事に参加した子ども達の姿を見た時に、「学校外のおしゃれと学校での身だしなみを上手に使い分けられている。さすが、太宰府西中学校の生徒。しっかりとオンオフの判断をしている。」と感じました。

ぜひこの機会にご家庭においても『中学生らしい校則』『皆が落着いて学習できる環境』等について、お子様とお話をさせていただきたいと思います。

